

令和8年度やさしい未来都市会議要旨

1 趣 旨

社会情勢の変化や新たな政策課題に対応するため、本市の方向性や主要施策の推進について、外部の有識者と意見交換し、識見を深めることを目的として、以下のとおり会議を実施した。

2 日 時

令和8年8月19日（水） 14時30分～16時00分

3 出席者

主宰（市長）

出席者9名（出席者名簿のとおり）

4 内 容

（1）意見交換テーマ「みんなで育てる、このまちの未来

—こどもから若者までを地域で支える—」

【論点1】 東広島市が行っている人材育成の施策等について、さらに充実させた方がよいと思う点は何か

【論点2】 地域社会が連携し、人を育てる仕組みをどのように構築すべきか

（2）主な意見抜粋

1. 人材育成施策のさらなる充実

- AIやDXの進展、半導体関連産業の集積など急速な社会変化に対応するため、幼少期から大学、社会人までを見通した一貫通貫の人材育成が重要である。探究学習やリスクリングを通じて、生涯にわたり学び続けることができる環境整備が求められる。
- 東広島市には大学や研究機関、先端企業が集積している強みがあることから、大学研究者や企業人材との交流機会を拡充し、子どもたちが早い段階から科学技術や研究活動、地域産業に触れられる機会を充実させることが必要である。
- AIを活用する能力だけでなく、創造力や探究心、コミュニケーション能力、人間関係を構築する力など、人間にしか発揮できない能力を育成していくことが今後ますます重要となる。
- 半導体関連産業を支える理系人材の育成に加え、農業をはじめとした地域産業を担う人材の確保も重要である。地域課題や地域資源への理解を深め、将来的な地元就職や地域定着につなげる取組が求められる。

- 起業家精神やチャレンジ精神を醸成するため、子どもや若者が地域課題の解決や新たな価値創造に挑戦できる機会を充実させることが重要である。スタートアップ人材や地域で挑戦する人材の育成を進める必要がある。
- 子どもの可能性や選択肢を広げる観点から、多様な職業や生き方を知る機会の充実が求められる。大学、高校、企業等との連携により、挑戦や成功体験を積み重ねることのできる環境づくりが重要である。
- 外国人高度人材の増加を見据え、国際教育環境（インターナショナルスクール等）や生活環境（医療体制等）の充実を図るとともに、多文化共生社会に対応できる人材育成についても検討していく必要がある。
- 子どもたちが安心して成長できる環境を整えるため、医療、福祉、教育が連携し、心身の健康を支える取組や外遊び・体験活動の充実を図ることが重要である。

2. 地域社会が連携し人を育てる仕組みの構築

- 人材育成は学校や家庭だけで完結するものではなく、地域全体で支えるという意識の醸成が重要である。大学、企業、地域団体、行政など多様な主体がそれぞれの強みを生かしながら連携する仕組みづくりが求められる。
- 子どもが安心して過ごすことができる居場所や、多様な大人との関わりを持てる環境づくりが必要である。公民館等の地域資源を活用しながら、地域ぐるみで子どもの成長を支える仕組みを充実させるべきである。
- 子ども同士が主体的に遊びや活動に取り組むことができる環境を確保し、コミュニケーション能力や協調性、主体性を育む機会を充実させることが重要である。
- 地域活動においては担い手の高齢化や後継者不足が進んでいることから、若者や働く世代が参加しやすい環境づくりや、地域活動への関心を高める取組が必要である。
- 世代間交流を促進し、地域の歴史や文化、特産品などを次世代へ継承することで、地域への愛着や誇りを育む取組を進めることが重要である。
- 地域ごとの実情や特性を踏まえながら、地域のキーパーソンや関係団体を中心とした人づくりを進める必要がある。地域の課題解決に向けて主体的に取り組む人材の育成が求められる。
- A I やD Xの活用により地域活動の負担軽減や効率化を図る一方で、人と人とのつながりや対話を大切にしたい地域づくりを進めることが重要である。
- Well-being の視点を取り入れながら、人とのつながりや地域への愛着を醸成し、将来にわたって住み続けたい、また戻ってきたいと思える地域づくりを進める必要がある。